



成田赤十字病院

日本赤十字社



成田から
世界の医療を
救う

JAPANESE RED CROSS
NARITA HOSPITAL

| Recruit Guide |

県内唯一の 赤十字病院として、 質の高い看護サービスを 提供します

当院は救命救急センターの設置、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院などの指定を受ける千葉県北総地域の基幹病院です。

また成田国際空港を控えて海外からの感染症に対応する特定感染症病床を備え、赤十字の使命である国内・海外の災害救護への即応体制を整えています。

看護部がめざす「こころ温かい看護」を、あなたのキャリアの出発点にしてください。

Message

患者さん、ご家族に寄り添い こころ温かい看護を提供

私たち成田赤十字病院の看護部は、患者さんやご家族に寄り添い、抱えている苦痛や不安を和らげ、ともに病気やけがに向き合い、ともに生きることをサポートしています。

患者さんの持っている生命力や回復力を最大限発揮できるよう、私たちの大切にしている『こころ温かい看護』を一緒に実践しましょう。



看護部長
武田 加代



看護理念

私たちは、赤十字の理念に基づき、患者の人權を尊重し、時代に即応した質の高い看護サービスを提供します。

方針

- ① ころも温かい看護を提供する。
- ② 安全な看護を提供する。
- ③ 専門性の高い看護を提供する。

ビジョン

- ① 赤十字看護師として、患者個々に即応した質の高い看護を提供する
- ② 患者・家族の気持ちに寄り添い患者満足度を高める
- ③ 知識・技術・態度を身につけ、根拠に基づいた安全・安心な看護を提供する
- ④ グローバルな視点を持ち、多職種及び地域との連携を強化し、チーム医療を推進する
- ⑤ 専門職業人として、互いの成長や学びを支えながら自己啓発に努める

一人一人がやりがいを感じ、 いきいきと働きながら成長しています

普段あまり聞くことのできない先輩看護師に病棟の様子や、新人看護師研修のこと、
救護班の活動内容などについてインタビューしました。

小児科、小児外科
(F3) 病棟
入社1年目



一人一人の成長に合わせた 手厚いサポート体制に魅力を感じて

私は、学生時代コロナ禍ということもありオンラインでの病院説明会に参加しました。説明会では、患者さんの個性だけでなく職員一人一人の個性や病棟の特性にあった指導方法があることに魅力を感じたこと、私が興味を持っていた小児科を独立病棟としており、興味がある分野を専門的にスキルアップしたいと感じたことが入職の大きな決め手となりました。

また、小児科のみならず当院はより高度な医療を提供できる第三次救急指定病院として地域の医療を支える役割を果たしており、様々な診療科を抱えている中で幅広い分野で深く高度な医療を学べると考え入職を決めました。

循環器内科、心臓
血管外科 (A6 西)
病棟
入社3年目



患者さんとの関わりを大切にしながら 新人看護師と病棟との橋渡しのような存在に

看護師3年目になり、新人看護師のサポーターという役割を任せていただいています。先輩サポーターに教えてもらったことを思い出しながら、新人看護師と病棟との橋渡しのような存在になれるよう積極的に声をかけることを心がけ、ポジティブフィードバックを意識しています。これからはリーダー業務を務めることになり、自分にリーダーという重要な役割ができるか不安ですが、先輩方にアドバイスをいただきながら成長していきたいと思います。様々な役割を担っていく中でも、新人の頃から大切にしている「患者さんの訴えや話を傾聴し、思いや願いに寄り添う看護」を忘れずに、これからも患者さんとの関わりを大切にしていきたいと思っています。

研修、実践で確かな技術を取得 サポーター体制で精神面のサポートも

入職した頃は週1回程度の新人研修があり、そこで学んだ事を先輩方の指導やアドバイスを受けながら、患者さんに実施することで技術を習得する事ができました。自立できる看護技術が増えてくると、看護師になったんだなという実感が湧いて嬉しかったです。また新人研修は同期との進捗状況の報告等話せる良い機会となり、リフレッシュの時間にもなりました。

年齢の近い先輩がサポーターとして、不安な手技の振り返りを一緒にしたり、困っている事はないか声をかけてくださったり、技術面だけでなく精神面のサポートもあり心強かったです。



泌尿器科、総合内科、
リウマチ・アレルギー
内科、皮膚科 (A7 西)
病棟

入社5年目

日々の培った経験を 救護活動の場に活かして

世界的に水害などの自然災害が激甚化し、今後首都直下地震の発生なども想定されている中で、近隣に国際空港を要する災害拠点病院として当院は大きな責任を感じています。救護班として任命された年に、行政や警察、消防、航空関係会社が合同で実施する航空機事故消火救難総合訓練に参加する事ができました。その活動を通し救護における現場は、日々培った経験を総括する場であると感じ、改めて看護の必要性について強く感じた経験でした。現在BCP作成など中心的に行っている自分の活動の一助になっていると思います。

※BCP：災害発生時などの緊急事態時に院内で重要な業務が中断しないための事業継続計画



ICU 病棟

新人看護師を病棟全員でサポート 相談しやすい環境を整えています

教育理念

看護職員が専門職として、質の高い看護サービスを提供できるように、能力開発を支援し、看護職員のキャリア開発をめざす。

求める看護師像

時代の変化に即応した質の高い看護サービスを提供できる看護師

他職種と協働しながら、
自立した看護サービスが提供できる。

相手の立場を尊重した素直な心を持ち、
あたたかい心遣いで看護実践ができる。

専門的な知識、技術、態度を身につけ、
専門職業人として自己研鑽に努めることができる。

自己の私生活も大切にしつつ、職業人としての調和がはかれ、
自己実現に向けて取り組むことができる。

自分の意見をアサーティブに伝えられ、
組織人として建設的な問題解決ができる。

1日のスケジュール

当院はシフト勤務となりますが、日勤のスケジュールを参考に1日の流れを紹介します。

8:30 ○ ウォーキングカンファレンス

9:30 ○ 清潔援助

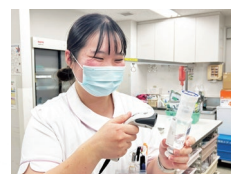
看護度に応じて、一週間ごとに立案したケアプランを元に毎日のケアを実施します



点滴交換

10:00 ○ 点滴交換

点滴は注射指示書に基づき、看護師と患者さん双方で確認し、バーコード認証後実施します。



点滴認証

11:00 ○ 回診介助

医師との回診の他、栄養サポートチーム、褥瘡など専門スタッフによる回診があり、患者さんと一緒に治療の計画を立案します。



回診

12:00 ○ 食事介助

患者さんの看護度に合わせて、食事のお手伝いをします。



カンファレンス

12:30 ○ お昼休憩

交替でお昼休憩をとります。

13:30 ○ カンファレンス

看護計画の評価や医師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど、他職種を含めた話し合いを行います。



カンファレンス

13:30 ○ 検温

14:30 ○ 患者さんへの説明

バイタルサインや状態を観察するだけでなく、困っている事や不安に思っている事も情報収集します。

14:30 ○ 看護記録

安心して手術や検査が受けられるように説明を行います。

14:30 ○ 看護記録

看護計画、問題点に沿う情報や実施した看護、患者さんの様子を記録します。

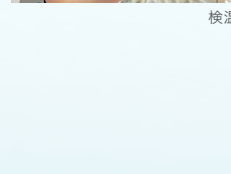
16:30 ○ 申し送り

継続した看護ができるよう、日勤者から夜勤者へ患者さんの情報を提供します。

16:30 ○ 申し送り

継続した看護ができるよう、日勤者から夜勤者へ患者さんの情報を提供します。

17:00 ○ 業務終了



検温

1年目は研修が多くあり、色々なことを学んでいく1年になります。

各病棟で教育担当係長や経験豊富な実地指導者がいるので、一人一人の進捗に合わせて丁寧に技術指導を行います。また、サポーターは入社2～3年目の看護師が担当し、悩み事などの相談に乗ってくれるのでサポート体制もしっかりしています。

1年目年間スケジュール

1年目の年間スケジュールです。新人のときは心身ともに疲労を感じやすいので、当院では新人看護師のメンタルケアのために公認心理師がプライバシーを保護しながらきめ細かく対応しています。

<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入社式 新人歓迎会 採血研修 食事介助研修 フィジカルアセスメント研修 感染研修 移送・トランスファー研修 	<p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害・防災管理研修 心のストレスケア研修 	<p>6ヵ月面接</p> <p>救急法</p>	 <p>静脈注射研修</p>
<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1ヵ月面接 静脈注射研修 与薬研修 	<p>11月</p>	<p>救急法</p>	 <p>輸液ポンプ研修</p>
<p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> サポーターとの交流 死後のケア研修 フレッシュセミナー(千葉県看護協会研修) 救急・急変時の看護研修 	<p>12月</p>	<p>救急法</p>	 <p>心のストレスケア研修</p>
<p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 急変時対応研修 新人リフレッシュ研修 夜勤スタート 3ヵ月面接 	<p>1月</p>	<p>ナラティブ目標管理</p>	 <p>救急法</p>
<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟納涼会 	<p>2月</p>	<p>地域看護研修</p>	
<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護課程研修 多重課題研修 	<p>3月</p>	<p>1年面接</p> <p>リフレッシュ研修</p>	

夏期休暇

6月から10月に1週間程の夏休み

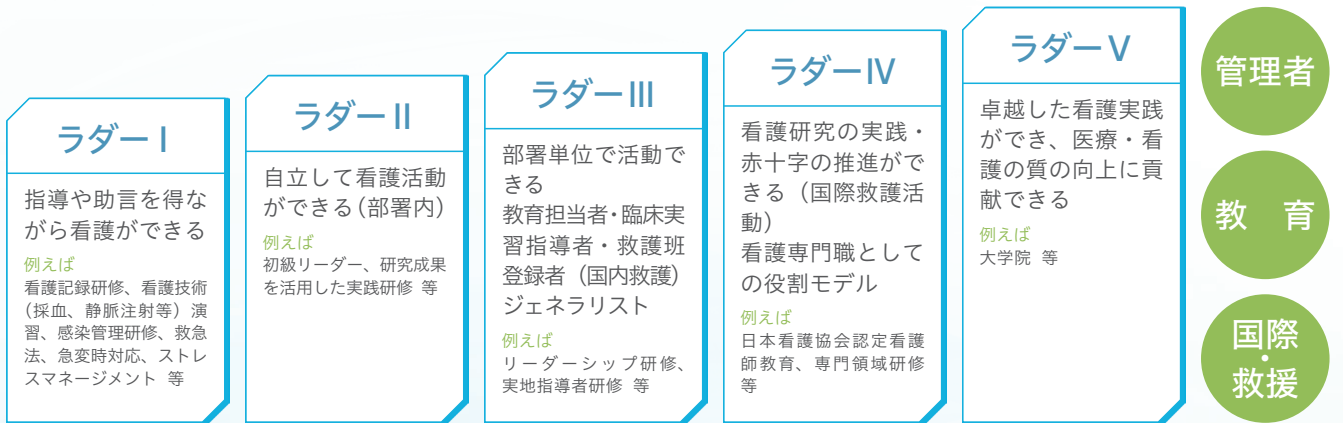
なりたい自分へ近づくための キャリアアップ

キャリア開発システム

日本看護協会が定める「看護師のクリニカルラダー」に沿い、必要な技術や知識を習得できるように配慮した教育研修を行っています。日本赤十字社では「看護師キャリア開発ラダー」を使用しているため、他の赤十字病院へ異動した場合もキャリアを継続することができます。

目的

- 1 赤十字の理念に基づいた「赤十字の看護師の看護実践能力」の到達目標を段階的に明示し、その到達をめざすことにより、質の高い看護や医療を提供でき、また赤十字事業の推進者となる看護師の育成を図る。
- 2 新人の時期から生涯にわたり、継続的に自己研鑽を積むことができる研修支援体制も含めた仕組みの導入により、看護師の能力開発の動機づけを促進し、職務満足を向上する。
- 3 キャリア開発の一環として各赤十字医療施設期間の人事交流を促進することにより、赤十字の看護師の質の向上を図る。



VOICE



ラダーⅠ

救命救急センター
HCU、CCU(F2)
病棟
入社2年目

ラダーⅠを取得するときに行った看護過程の展開では、急性期病棟で関わる期間が短い中でも、患者さんとその家族の想いを汲み取り、関わることの大切さを改めて学びました。また、日々の業務の中では、先輩からの指導や助言を受けることで、自分の知識や技術を少しずつ深めることができていると感じます。

VOICE



ラダーⅡ

血液腫瘍科(A7E)
病棟
入社7年目

院内研修に参加し、看護師としてのスキルアップを目指しながら自己成長を実感することができています。救護研修、国際看護研修など赤十字ならではの講義は、身近でも起こりうる災害時や外国人患者さんへの対応に活かすことのできる学びとなりました。ラダーの取得は、目指す看護師像に近づくために必要な教育プログラムだと思っています。

VOICE



ラダーⅢ

外科、口腔外科
(A5E) 病棟
入社9年目

私は現在外科病棟に所属し、病棟と外来で勤務をしています。ラダーⅢ取得にむけ参加した地域看護の研修で、他職種協働による退院支援の実際や社会資源の活用について学びました。外科病棟では早期退院が重要な課題の一つとなっています。看護師が入院前から多角的に介入することで在院日数の減少に役立っていることを実感しています。

資格取得支援

当院では、休職制度を利用し大学・大学院への進学や、数年間勤務している場合、出張として給与を受け取りながら助産師学校へ行くことが可能です。大学院での助産師資格取得の場合、出張と休職制度の利用が可能です。

大学・大学院進学支援



ICU 病棟
入社 14 年目

私は、脳神経看護の知識を深めてもっと広い視野で看護を実践したいと思い、専門看護師を目指し大学院へ進学しました。進学にあたり自身で奨学金制度に申し込みをし、休職制度を利用しながら進学しました。卒業後は引き続き当院で勤務することができるので、安心して勉学に集中できました。進学や資格取得を目指している職員を応援してくれる職場であると感じています。

助産師資格取得支援



産婦人科、血液腫瘍科 (A3E) 病棟
入社 10 年目

他病棟を経験後、助産師になりたいと考えていたので現病棟に異動しました。助産師の仕事内容を知り、更に夢に向かって頑張りたいと思いました。上司や先輩方の後押しがあり、資格取得支援制度を利用し助産師学校に進学しました。資格取得後は、後輩育成のために先輩方がサポートしてくれ、とても心強く働きやすい環境です。

専門・認定看護師資格取得支援

認定看護師の資格を取得するためには、実務経験が5年以上必要であり、そのうち通算3年以上は、取得を希望する認定看護分野での実務経験が必要となります。また、看護師教育機関の認定審査合格後、認定看護師専門研修期間において6ヶ月（615時間）以上の授業を受講する必要があります。研修期間については、出張として給与をもらいながら講義を受講することができます。

専門看護師 計3名

急性・重症患者看護	1名	小児看護	1名	慢性疾患看護	1名
-----------	----	------	----	--------	----

認定看護師 計24名

がん化学療法看護	1名	緩和ケア	2名	精神科認定看護師	2名	糖尿病看護	2名
皮膚・排泄ケア	3名	脳卒中リハビリテーション看護	2名	集中ケア	3名	乳がん看護	1名
摂食・嚥下障害看護	1名	がん性疼痛看護	1名	新生児集中ケア	2名		
認知症看護	1名	手術看護	1名	感染管理	2名		

VOICE



皮膚・排泄ケア認定看護師

病棟看護やチーム医療で力を発揮。目に見える結果が喜びです

私が皮膚・排泄ケア認定看護師を目指したのは、患者さんの皮膚障害は看護師の知識と技術で治癒できると経験したことがきっかけです。認定看護師として創傷・人工肛門・排泄のケアを病棟スタッフと実践しています。創傷ケアでは病棟スタッフのほか、多職種からなる褥瘡対策チームでも関わり、早期の治癒を目指し、再発予防にも努めています。人工肛門のケアは入院中から退院後の生活を見据えたケアを提案しています。さらに、外来で継続的にかかわることで、退院後の不安の軽減ができるようにしています。皮膚のケアは結果が目に見えるため、本人、家族、病棟スタッフと改善した喜びを共有できることが醍醐味です。

安心して働ける環境と サポート体制

当院では、看護師寮、産前産後休暇、育児休業、育児短時間勤務、子の看護休暇、介護休暇、託児所などの福利厚生も充実しているので安心して働ける環境が整っています。

看護師寮

独身女性専用のマンションタイプの寮です。寮から病院まで徒歩3分ととても近いので、行き帰りも安心です。近くにコンビニエンスストアやファミリーレストランもあります。

設備

エアコン
システムキッチン
IH調理器具
追い炊き機能付浴槽
ユニットバス暖房乾燥機
室内壁付物干し
床下収納
オートロック(カードキー)
カラーモニター付インターフォン
フローリング



出産・子育て支援

仕事をつづけながら出産や子育てができるよう様々な支援制度を行っています。

産前・産後休暇、育児休業を取得してお休みし、復帰後は育児短時間勤務制度を利用しながら活躍するママさん・パパさん看護師がたくさんいます。

産前産後休暇

育児休業

育児短時間勤務

子の看護休暇

TOPICS

院内託児所が新しくなりました！

当院では、子育てを行っている職員が安心して就労できるよう、院内託児所を設置しており、年齢は2か月から6歳(未就学)のお子さんを24時間体制でお預かりしています。

令和5年10月に院内託児所をリニューアルオープンしました。託児所内は、木のぬくもりを感じられる明るく清潔感のある建物で、これまでよりも広く、子どもたちがのびのびと過ごせる環境となっております。

ご家族に安心していただけるよう、あたたかい保育を心掛け、年齢に応じたいろいろな活動を通じて、心身の健康と健やかな成長を目指しております。

また、リニューアルに伴い、当院小児科と連携し、子どもの急な発熱や病気などでも対応できる病児保育も始めました。



北総地域の中核病院として、 救急医療・急性期医療体制が充実

当院は救命救急センターの設置、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院などの指定を受けている千葉県北総地域の基幹病院です。また、成田国際空港に隣接した病院として、日本国内に4か所しかない特定感染症病床を有し、海外からの感染症の脅威に対して即対応できる体制を構築しています。

病院概要

開設年月日 昭和 23 年 2 月 1 日

標榜診療科 内科、消化器内科、循環器内科、血液腫瘍内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、リウマチ内科、アレルギー内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア外科、病理診断科

特殊設備 救命救急センター、集中治療室 (ICU)、高度治療室 (HCU)、新生児センター (NICU)、人工透析センター、リハビリテーションセンター、無菌治療室、感染症病床 (特定・一種・二種)、健康管理センター、人間ドック (2日・日帰り)

病床数 710 床 (一般 653 床・精神 50 床・感染症 7 床)

職員数 1,431 名 (令和 5 年 4 月)

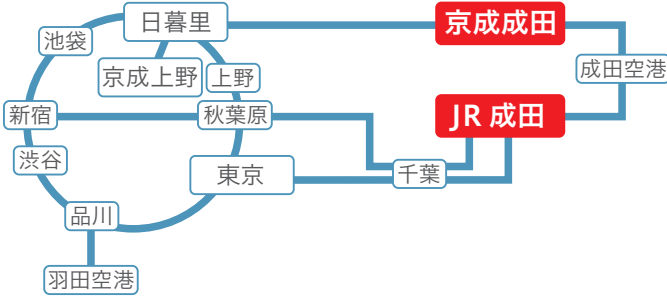
機能 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院、地域周産期母子医療センター、ヘリポート (救命救急センター対応・災害活動等)、印旛山武地域難病相談支援センター、エイズ治療拠点病院、DPC 対象病院



フロア図

8F	患者図書室、肺がん治療センター、講堂、洗濯室							
7F	血液腫瘍科、無菌治療室	泌尿器科、総合内科、リウマチ・アレルギー内科、皮膚科						
6F	糖尿病・内分泌代謝内科、腎臓内科、眼科、形成外科	循環器内科、心臓血管外科			病歴室、会議室			
5F	外科、歯科口腔外科	外科、消化器内科			管理棟			
4F	感染症科、呼吸器内科	整形外科			脳神経外科、呼吸器外科		透析センター	
3F	産婦人科、新生児センター、血液腫瘍科	耳鼻咽喉科、脳神経内科	管理棟	管理棟	小児科、小児外科	精神神経科		
2F	検査室、外来、手術室		管理棟、医療福祉相談室	管理棟	救命救急センター、ICU・CCU、HCU	健康管理センター、人間ドック	会議室	
1F	受付、会計、薬局、放射線検査、内視鏡、救急、キャッシュコーナー、院外処方せん受付、患者支援センター、文書センター、外来		外来、リハビリテーション科、売店	管理棟	リハビリテーション科、生理機能検査室、通院治療センター	健康管理センター、放射線治療、内視鏡	講堂	
東館		西館		B 棟	C 棟	F 棟	G 棟	研修棟
A 棟								

Access



JR 東京駅 ▶ 成田駅 1 時間 25 分 (快速)
 京成上野駅 ▶ 成田駅 1 時間 5 分 (特急)



JR 成田駅東口よりバスで5分、「日赤病院前」下車
 京成成田駅西口よりバスで5分、「日赤病院前」下車
 京成公津の杜駅より徒歩 15 分
 東関東自動車道 富里ICより 10 分

日本赤十字社 成田赤十字病院

〒 286-8523 千葉県成田市飯田町 90-1
 TEL 0476-22-2311 FAX 0476-22-6477
<https://www.narita.jrc.or.jp/>



SNS
 随時更新しています!

 **看護部 Instagram**
 研修や病棟の様子を日々更新中!
 @narita_kangobu 

 **病院 X (旧 TWITTER)**
 フォローお願いします!
 @narita_jrc 

 **病院 Instagram**
 病院公式
 インスタグラムもチェック!
 @narita_jrc 